

2022年3月期第3四半期（第16期）

決算説明資料

2022年2月10日(木)

株式会社コプロ・ホールディングス

東証一部・名証一部（証券コード：7059）

1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス
2. 連結決算ハイライト
3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）
4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）
5. 2022年3月期見通し・連結業績予想
6. 株主還元

- 1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス**
2. 連結決算ハイライト
3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）
4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）
5. 2022年3月期見通し・連結業績予想
6. 株主還元

第2四半期決算発表からの主なトピックス

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書(12月10日発表)

- プライム市場上場維持基準「流通株式時価総額100億円以上」の充足に向けて、2022年春に公表予定の『中期経営計画（2023年3月期～2027年3月期）』に基づき、各事業戦略を推し進めることで業績拡大を図るとともに、コーポレートガバナンスの充実に係る取組みや、株式流動性の向上に係る取組みにより、企業価値の向上を通して時価総額の拡大を目指す。
- 中期経営計画の最終年度となる「2027年3月期末」までに流通株式時価総額100億円以上の達成を見込む。

自己株式の取得終了(12月3日発表)

- 2021年9月14日開催の取締役会にて、プライム市場上場維持基準「流通株式時価総額100億円以上」の適合に向け、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を目的とした株式数30万株、総額3.5億円を上限とする自己株式の取得を決議。
- 2021年9月15日～11月30日の期間において、下記の通り自己株取得を実施。
 - ✓ 取得株式総数：280,000株 (発行済株式数(自己株式を除く)に対する割合2.93%)
 - ✓ 株式取得価額の総額：349,942,000円

バリューアークコンサルティング株式会社の新規連結

- 2021年9月30日にM&Aを実施した、フリーランスのITエンジニアを対象としたSES事業を展開するバリューアークコンサルティング株式会社の損益を、当第3四半期より新規連結しました。

1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス
- 2. 連結決算ハイライト**
3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）
4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）
5. 2022年3月期見通し・連結業績予想
6. 株主還元

連結決算ハイライト

- 売上高は、アトモスおよびバリューアークコンサルティングの新規連結により前期比+3.4%の増収。
- Non-GAAP営業利益[※]は、コプロ・エンジニアードにおけるチャージアップ交渉の進展による売上原価率の改善が寄与し前期比+24.7%の大幅増益。

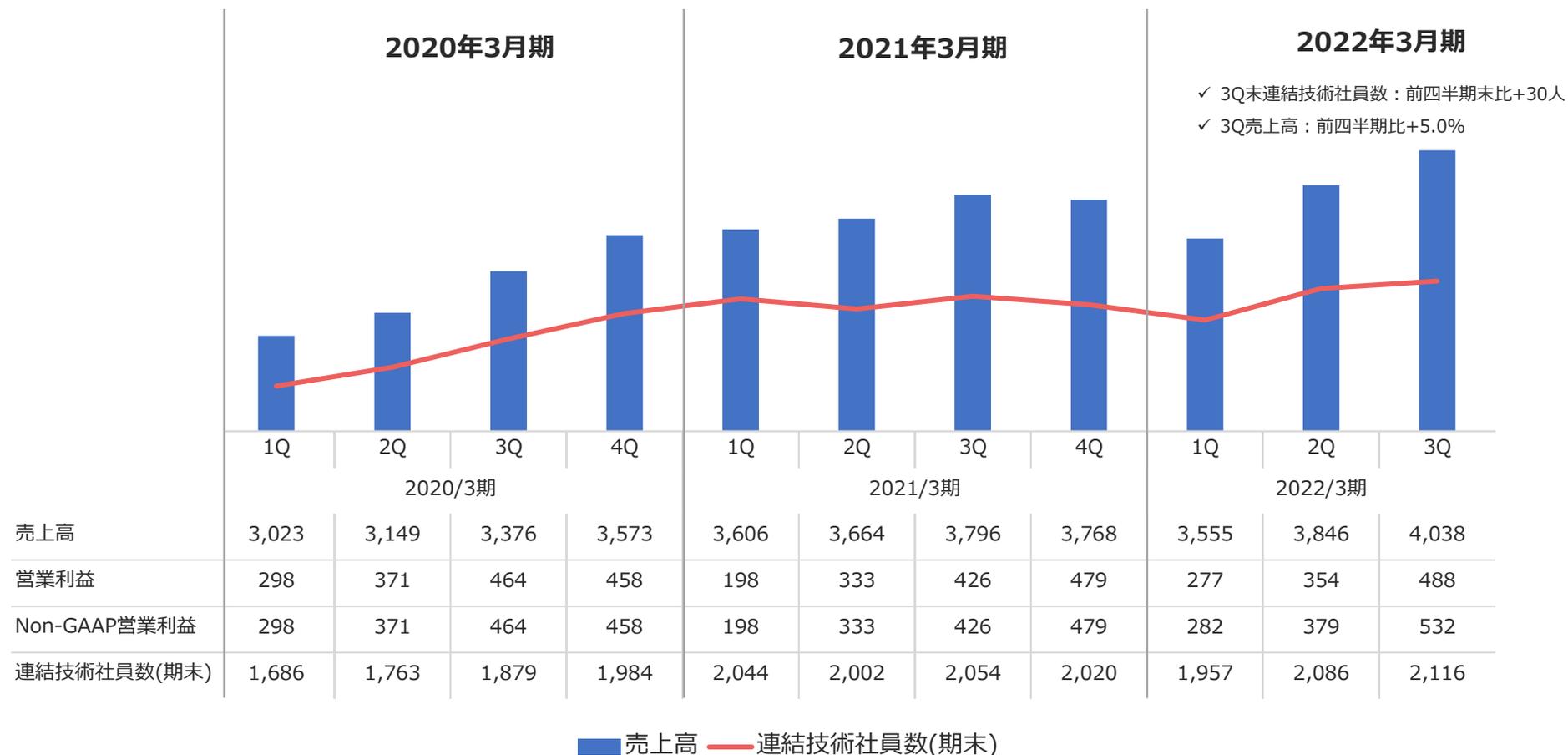
※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益にのれん償却、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

(百万円)

	2021/3期		2022/3期		前期比	
	3Q累計	構成比	3Q累計	構成比	増減率	増減額
売上高	11,068	100.0%	11,440	100.0%	+3.4%	+371
売上原価	7,915	71.5%	7,909	69.1%	△0.1%	△5
売上総利益	3,152	28.5%	3,530	30.9%	+12.0%	+377
販売費及び一般管理費	2,194	19.8%	2,408	21.1%	+9.8%	+214
営業利益	958	8.7%	1,121	9.8%	+17.1%	+163
のれん償却	—	—	37	—	—	+37
株式報酬費用	—	—	35	—	—	+35
Non-GAAP営業利益 [※]	958	8.7%	1,194	10.4%	+24.7%	+236
経常利益	960	8.7%	1,119	9.8%	+16.6%	+159
親会社株主に帰属する当期純利益	689	6.2%	619	5.4%	△10.2%	△70
連結技術社員数(期末、SES事業除く)	2,054	—	2,116	—	+3.0%	+62

四半期連結業績

- 当第3四半期会計期間における売上高および営業利益、Non-GAAP営業利益は四半期ベースで過去最高を達成。

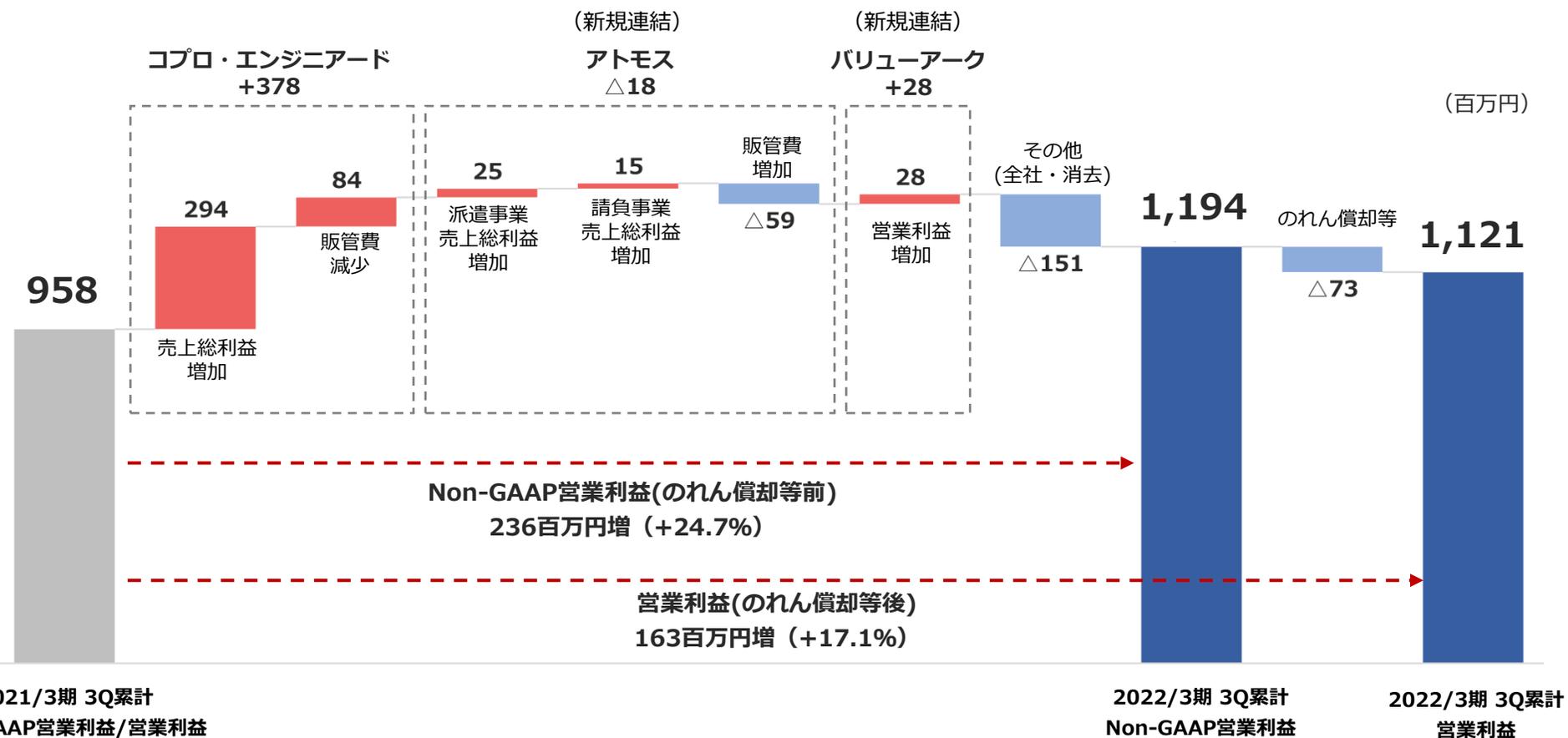


※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益にのれん償却、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

※ 連結技術社員数はSES事業除く期末在籍人数を記載しています。

連結営業利益

- ・コプロ・エンジニアードにおけるチャージアップ交渉の進展による売上総利益の増加が寄与したほか、新規連結したバリューアークコンサルティングの貢献もあり、Non-GAAP営業利益は前期比+24.7%の増益。



※ Non-GAAP営業利益は、本質的な業績を測る利益指標として、営業利益にのれん償却、株式報酬費用を足し戻した金額を計算しています。

子会社別業績

株式会社コプロ・エンジニアード（単体）

	2021/3期		2022/3期		前期比	
	3Q累計	構成比	3Q累計	構成比	増減率	増減額
	(百万円)					
売上高	11,068	100.0%	11,032	100.0%	△0.3%	△35
売上原価	7,915	71.5%	7,585	68.8%	△4.2%	△330
売上総利益	3,152	28.5%	3,447	31.2%	+9.3%	+294
販管費	2,548	23.0%	2,464	22.3%	△3.3%	△84
営業利益	604	5.5%	982	8.9%	+62.7%	+378
技術社員数(期末)	2,054	-	2,010	-	△2.1%	△44
売上PH(月平均、千円)	629	-	639	-	+1.6%	+10

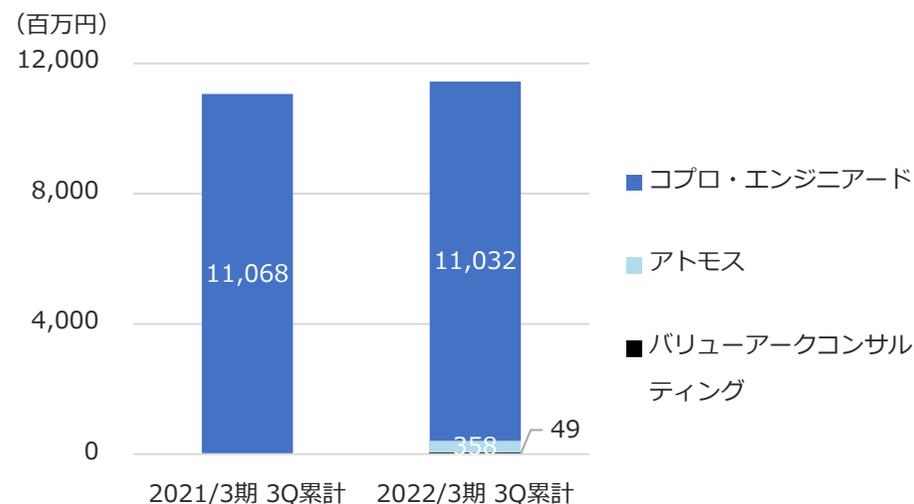
※ 売上PHは、派遣技術社員1人当たりの月次平均売上単価を記載しています。

株式会社アトモス（単体）

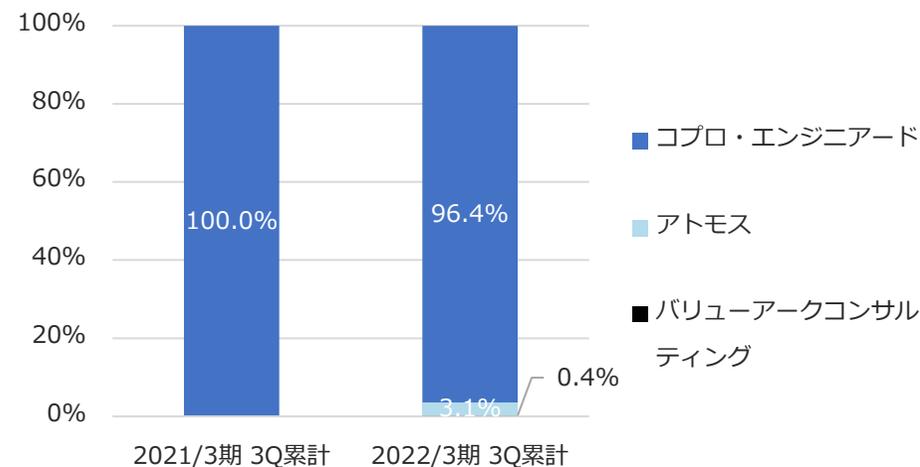
	2021/3期		2022/3期		前期比	
	3Q累計	構成比	3Q累計 (6-11月)	構成比	増減率	増減額
	(百万円)					
売上高	-	-	358	100.0%	-	-
売上原価	-	-	317	88.7%	-	-
売上総利益	-	-	40	11.3%	-	-
販管費	-	-	59	16.6%	-	-
営業利益	-	-	△18	-	-	-
技術社員数(期末)	-	-	106	-	-	-
売上PH(月平均、千円)	-	-	556	-	-	-

※ 売上PHは、請負事業を除く派遣技術社員1人当たりの月次平均売上単価を記載しています。

子会社別売上高



子会社別売上高構成比



貸借対照表

- ・（資産）子会社取得に係る支払、自己株式の取得及び配当金の支払等により流動資産が減少。一方、子会社取得、本社移転及び新基幹システム開発等に伴い固定資産が増加。
- ・（負債）未払消費税等が減少した一方、子会社の新規連結等により未払金が増加。

貸借対照表

(百万円)

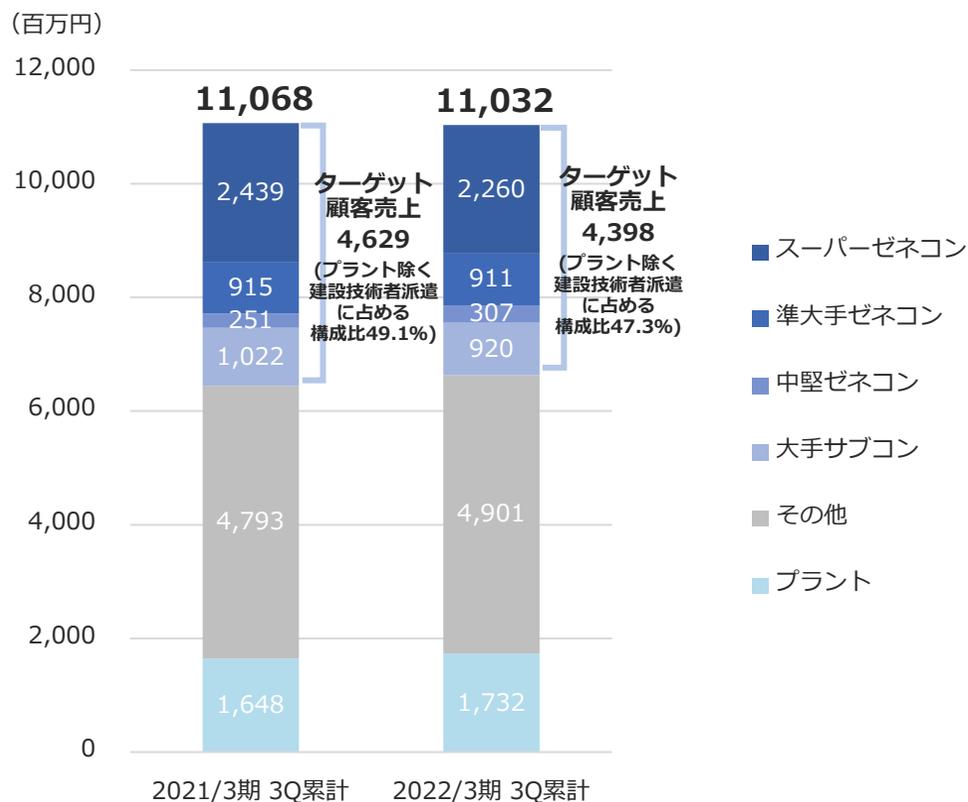
	2021/3期	2022/3期	前期末比	
	4Q末	3Q末	増減額	増減率
資産合計	8,514	8,568	+54	+0.6%
現金及び預金	5,320	3,921	△1,399	△26.3%
売上債権	1,880	2,055	+175	+9.3%
のれん	－	857	+857	－
その他	1,313	1,734	+420	+32.0%
負債合計	2,241	2,341	+99	+4.4%
有利子負債	89	5	△83	△93.5%
その他	2,152	2,335	+182	+8.5%
純資産	6,272	6,227	△44	△0.7%
自己資本	6,272	6,191	△80	△1.3%

1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス
2. 連結決算ハイライト
- 3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）**
4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）
5. 2022年3月期見通し・連結業績予想
6. 株主還元

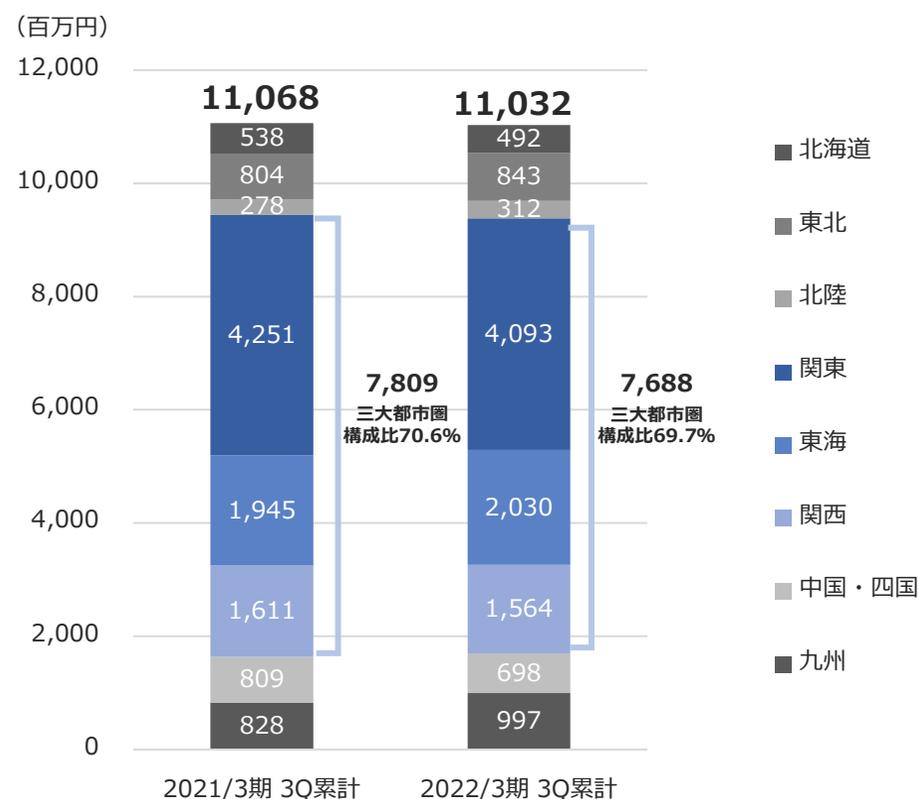
取引先別・エリア別売上高（建設・プラント技術者派遣）

- ・深耕営業の進展に伴い、ターゲット顧客売上高は四半期を追うごとに改善し、3Q期間(10-12月)は前年同期比+2.9%伸長(1Q同△11.7%、2Q同△5.5%)。
- ・都市再開発案件等の増加を受け、3Q期間(10-12月)の三大都市圏の売上高は前年同期比△0.5%まで回復(1Q同△3.5%、2Q同△0.6%)。

取引先別売上高



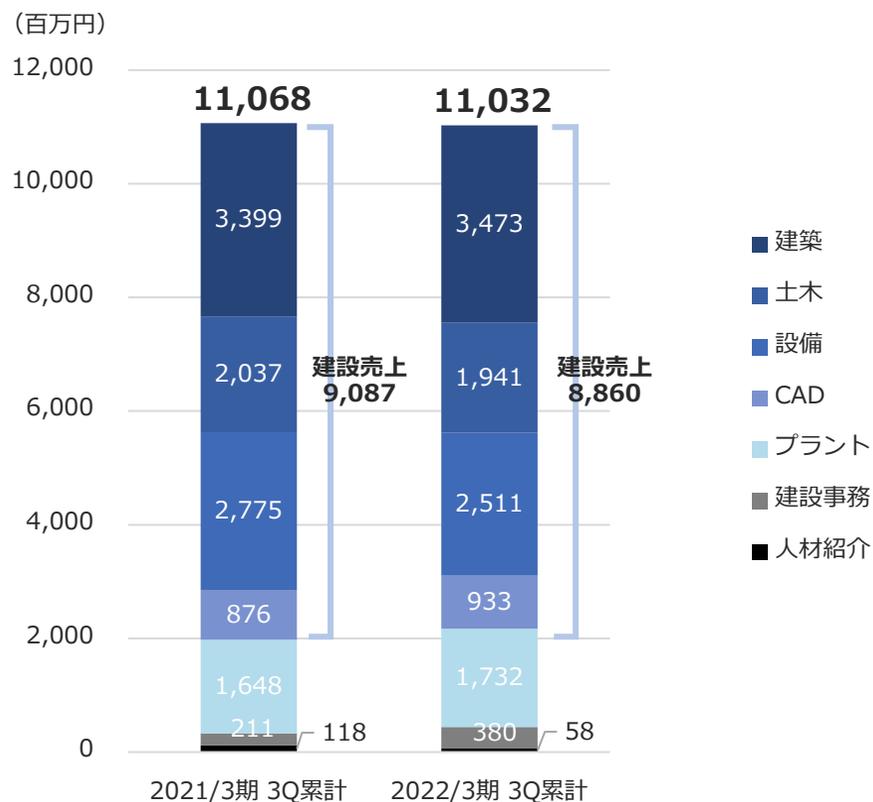
エリア別売上高



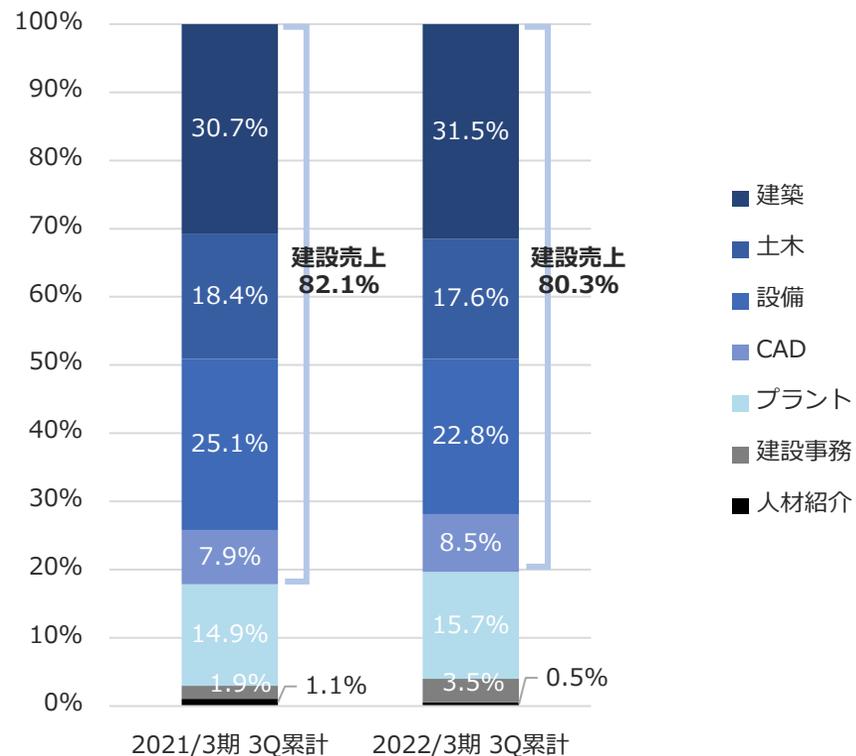
業種別売上高（建設・プラント技術者派遣）

- 都市再開発案件を背景に着工直後の案件が増加傾向にあり、建築の売上高が伸長したほか、プラントも引き続き好調に推移。一方、竣工前の案件が減少したことにより設備の売上が減少。

売上高

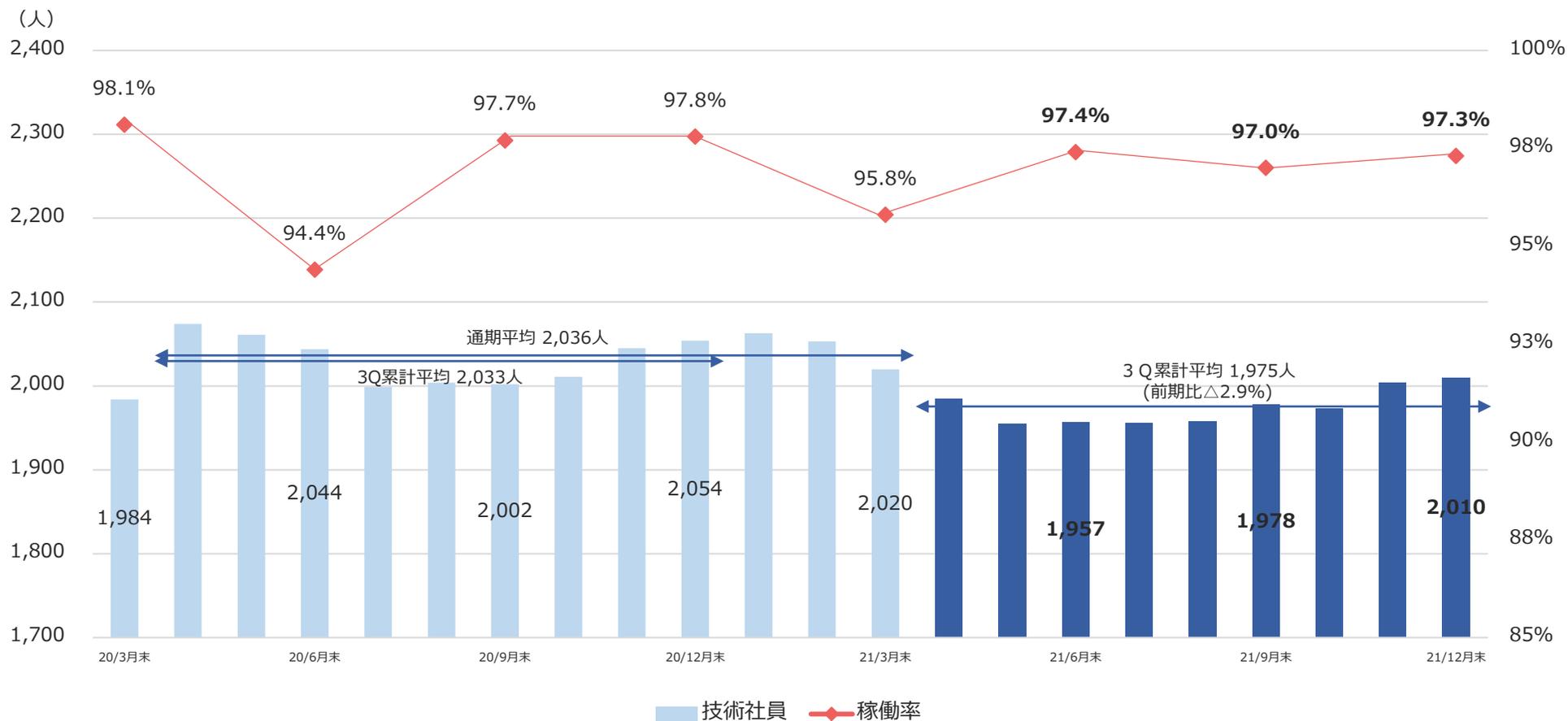


売上高構成比



技術社員数・稼働率（建設・プラント技術者派遣）

- ・当3Q末の技術社員数は2,010人(前3Q末比△44人)。
- ・当3Q末の稼働率は97.3%(前3Q末比△0.5pt)。



採用/退職・定着率・契約継続率（建設・プラント技術者派遣）

- 採用人数は概ね前年同期並みを実施。中途採用のうち、期初から強化している経験者は前年同期を上回る一方、未経験者は前年同期より減少。
- 当期より営業社員が派遣先への営業と技術社員のアフターフォローを一貫して行う体制に変更した効果が徐々に顕在化してきており、退職人数は抑制傾向。

技術社員の採用・退職人数

(人)

	2021/3期	2022/3期 3Q累計	前期比	2022/3期 (予想)
採用人数計	865	651	-	1,200
新卒採用	89	56	△33	
1Q中途採用	192	174	△18	
2Q中途採用	181	208	+27	
3Q中途採用	231	213	△18	
4Q中途採用	172	-	-	
退職人数計	829	661	-	780
無期雇用社員	68	70	-	
有期雇用社員	761	591	-	
1Q退職	221	293	+72	
2Q退職	223	187	△36	
3Q退職	179	181	+2	
4Q退職	206	-	-	
純増減	+36	△10	-	+420
期末在籍人数計	2,020	2,010	-	2,440

技術社員の定着率

	2021/3期				2022/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
技術社員(LTM)	73.7%	73.0%	71.0%	69.1%	68.0%	69.5%	69.2%
今期累計	89.7%	80.4%	74.7%	69.1%	84.8%	79.3%	74.6%
内、無期雇用(LTM)	84.5%	85.8%	85.2%	85.2%	78.9%	77.0%	78.9%
今期累計	95.7%	92.2%	87.9%	85.2%	94.2%	88.9%	85.3%
内、有期雇用(LTM)	71.5%	70.6%	68.7%	66.7%	65.8%	68.0%	67.5%
今期累計	88.8%	78.6%	72.8%	66.7%	82.4%	76.8%	71.9%

※定着率 = 1年前の四半期末に在籍していた技術社員のうち、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

※今期累計定着率 = 前4Q末に在籍していた技術社員数のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

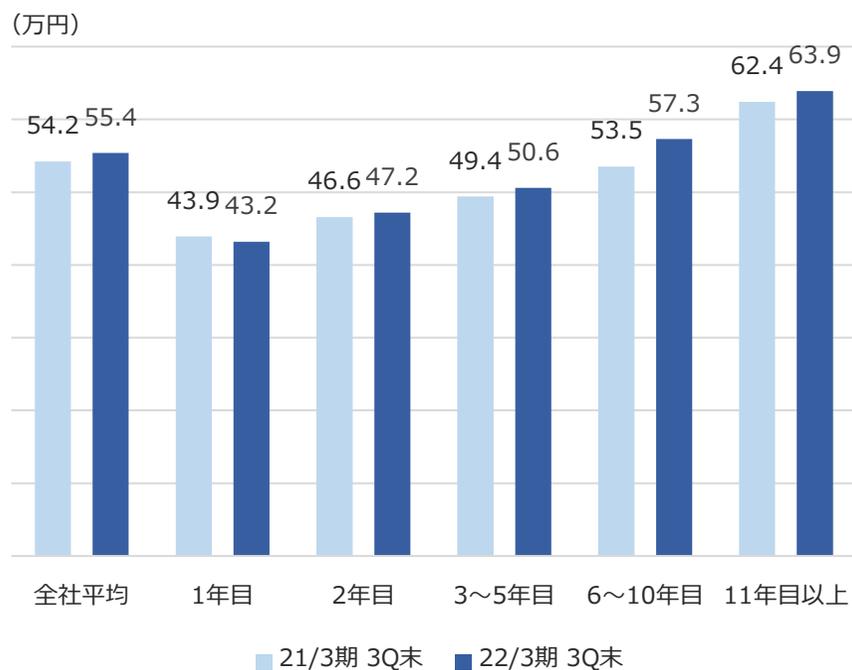
契約継続率

	2021/3期						2022/3期			
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q 累計
契約継続率	63.2%	67.6%	67.8%	66.1%	70.0%	67.1%	74.1%	82.2%	71.5%	75.9%

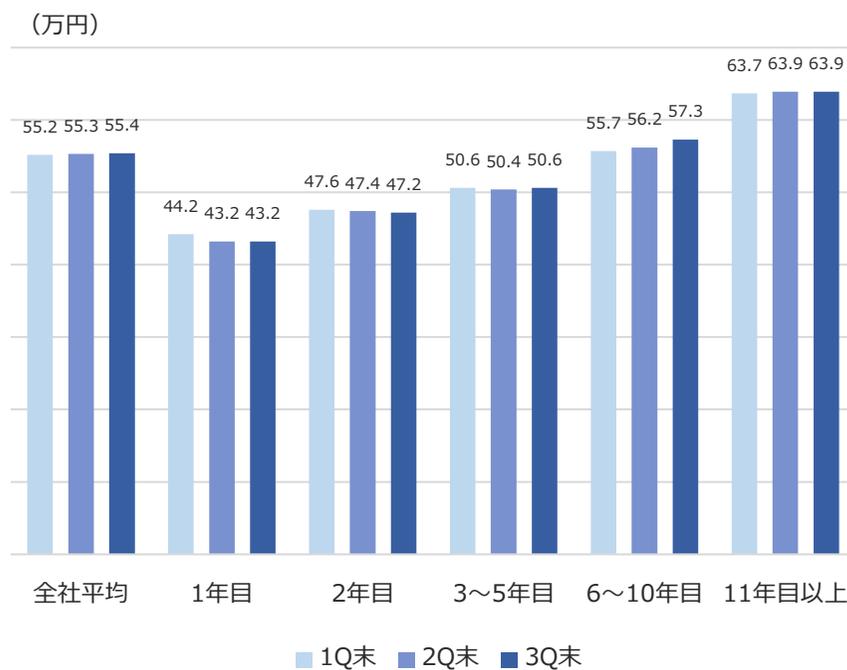
経験年数別契約単価（建設・プラント技術者派遣）

・チャージアップ交渉の進展により、当3Q末時点における全社平均の契約単価は前期比+1.2万円、前四半期比+1千円増加。

前期比較



四半期推移

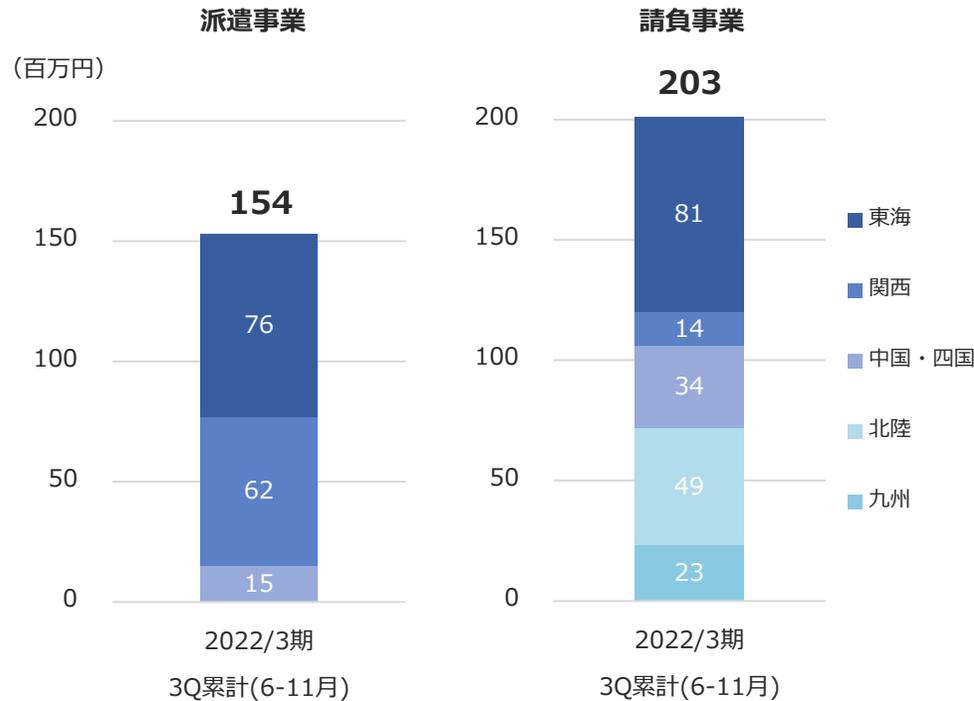


1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス
2. 連結決算ハイライト
3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）
- 4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）**
5. 2022年3月期見通し・連結業績予想
6. 株主還元

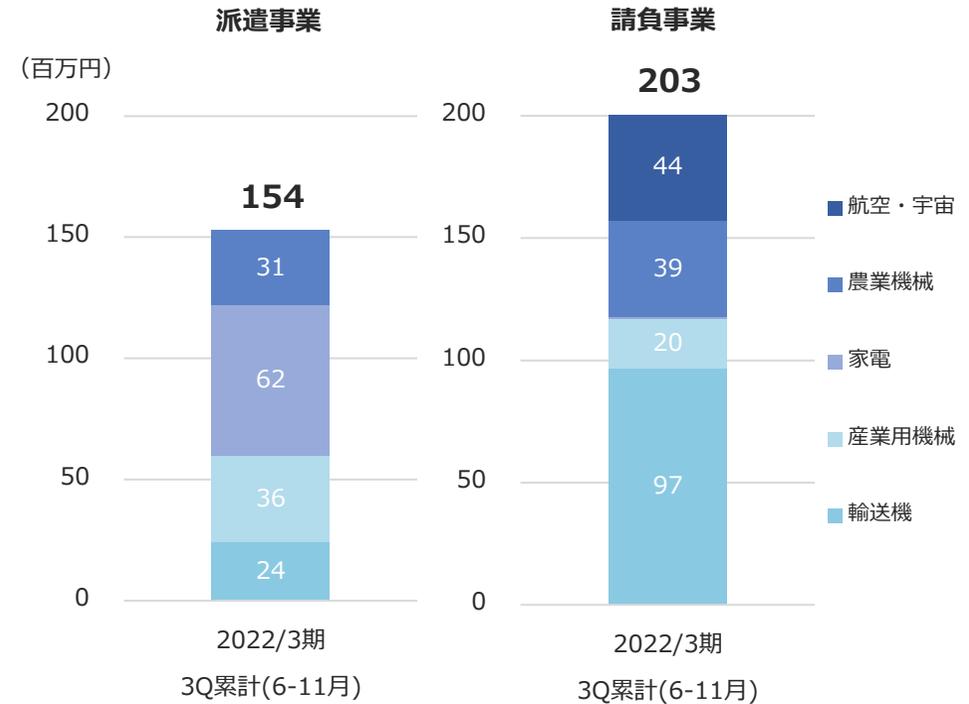
エリア別売上高・業界別売上高（機械設計開発技術者派遣・請負）

- ・派遣事業は、新規取引先からの案件増加により、特に東海エリアにおいて3Q期間(9-11月)の売上高が前四半期比+17.2%となった。
- ・請負事業は、輸送機業界およびそれに付随する産業用機械の堅調とプロダクト事業の寄与により、特に東海エリアにおいて3Q期間(9-11月)の売上高が前四半期比+77.3%となった。
- ・製造業の緩やかな復調にあわせ、派遣事業および請負事業共に受注量の増加につながった。

エリア別売上高

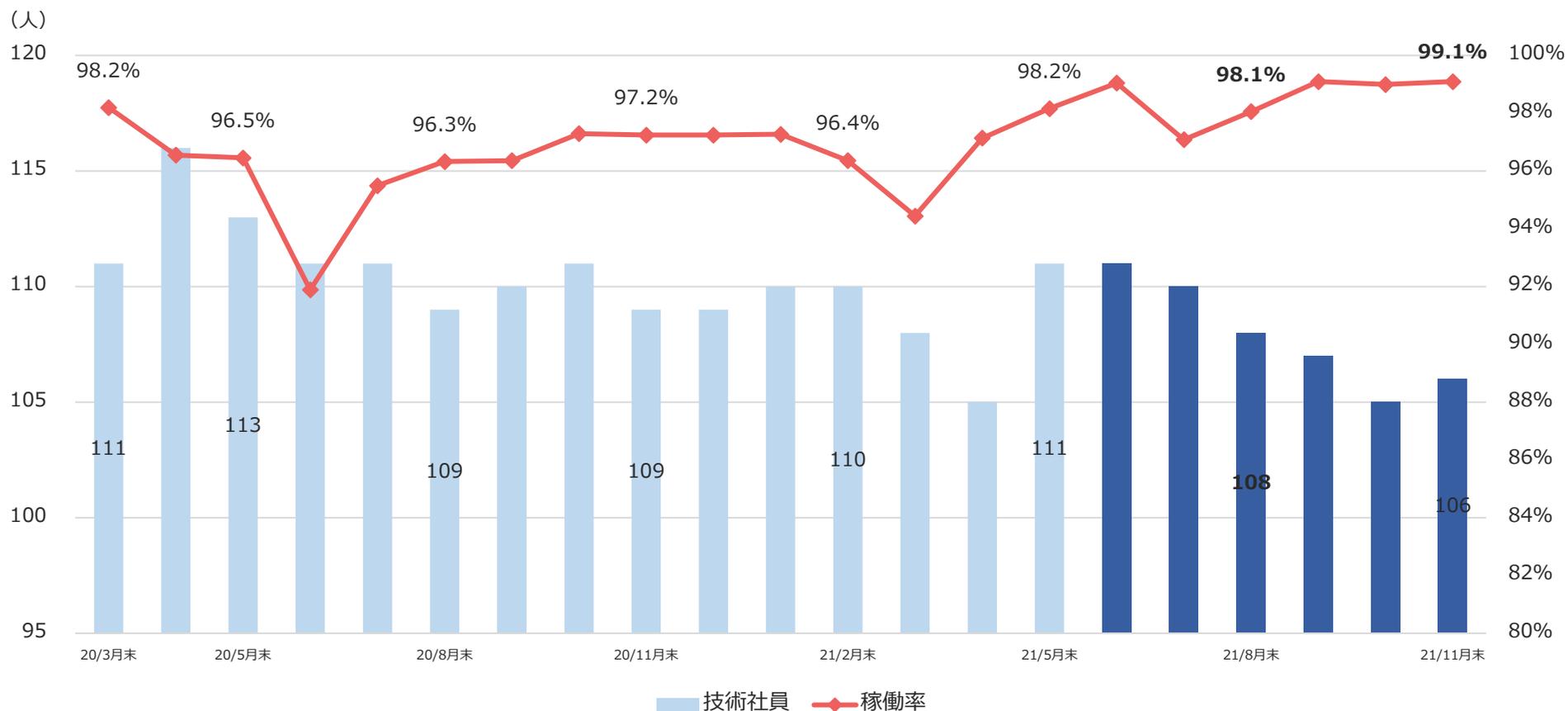


業界別売上高



技術社員数・稼働率（機械設計開発技術者派遣・請負）

- ・当3Q末の技術社員数は106人。
- ・当3Q末の稼働率は99.1%。請負事業の原価改善に伴い、請負人財の派遣事業へのシフトを進めたことで高い稼働率を実現。



採用/退職・定着率・契約継続率（機械設計開発技術者派遣・請負）

・3Qより採用活動を本格稼働。4Qより在籍人数の積み増しを目指す。

技術社員の採用・退職人数

	2022/3期 3Q累計 (6-11月)	2022/3期 (予想)
採用人数計	5	30
新卒採用		
1Q中途採用		
2Q中途採用	2	
3Q中途採用	3	
4Q中途採用	—	
退職人数計*	10	10
無期雇用社員	9	
有期雇用社員	1	
1Q退職		
2Q退職	5	
3Q退職	5	
4Q退職	—	
純増減	△5	+20
期末在籍人数計	106	130

※ 技術社員から管理社員へのキャリアチェンジ3名を含む。

技術社員の定着率

	2021/3期				2022/3期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
定着率(LTM)	88.6%	87.7%	89.0%	90.8%	90.9%	92.3%	87.3%
今期累計	98.8%	95.5%	93.4%	92.2%	97.6%	95.2%	88.3%

※定着率=1年前の四半期末に在籍していた技術社員の内、1年後の当該四半期末に在籍している人数の割合。

※今期累計定着率=前4Q末に在籍していた技術社員数のうち、当該四半期末に在籍している人数の割合。

契約継続率

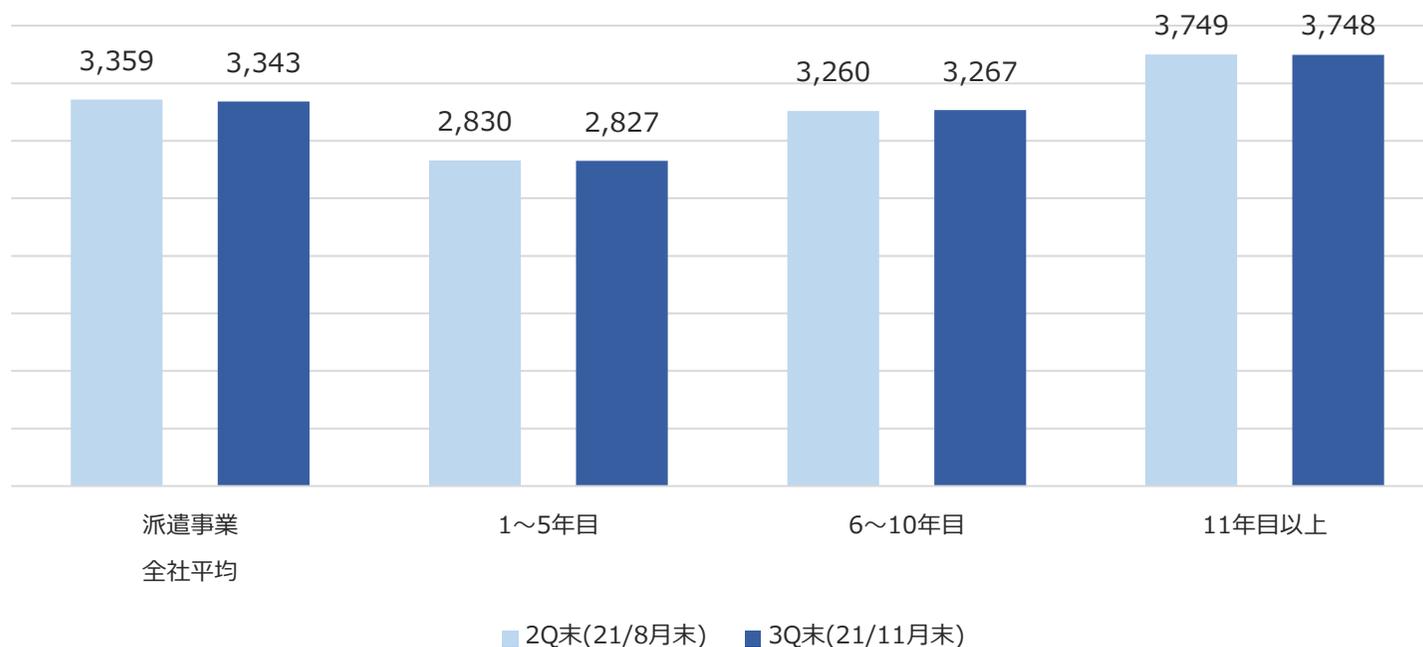
	2021/3期						2022/3期			
	1Q	2Q	3Q	3Q 累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q 累計
契約継続率	93.1%	91.7%	94.4%	93.3%	86.7%	91.6%	89.7%	93.8%	92.9%	92.0%

経験年数別契約時給単価（機械設計開発技術者派遣・請負）

- 2022年4月のチャージアップを念頭に、チャージアップを目的としたシフトや新規取引での高い派遣単価での契約を推進。

契約時給単価（派遣事業）

(円/時間)



1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス
2. 連結決算ハイライト
3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）
4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）
- 5. 2022年3月期見通し・連結業績予想**
6. 株主還元

2022年3月期見通し

■ 株式会社コプロ・エンジニアード（建設・プラント技術者派遣事業）

受注	営業改革の推進が奏功したこともあり、3Q累計期間の案件数は前期比1.7倍に増加しており、需要は堅調に推移している。また、足もとでは関東圏を中心に再開発案件の動きが出始めるなど、4Qから来期にかけて建築および設備への需要の広がりが期待される。
採用	需要の拡大に備えた人材の確保に取り組む一方、有効求人倍率の上昇を警戒。経験者の採用強化の継続に加え、優秀な未経験者の囲い込みを優先課題に、未経験者からの応募獲得を目的とした施策を強化する。
定着	営業社員が派遣先への営業活動と技術社員のアフターフォローを一貫して行う体制に変更した効果が退職数に表れてきているほか、ターゲット先顧客への深耕営業の進展により、退職数は抑制傾向の維持を見込む。
チャージアップ	契約単価の見直しは順調に進捗。引き続き深耕営業を通じて契約継続率の向上を図りながら、チャージアップを積み重ねていく。

■ 株式会社アトモス（機械設計・開発技術者派遣事業）

受注	引き続きコロナ禍の影響に加え、世界的な半導体不足による製品の生産調整の影響は懸念材料だが、製造業の回復は緩やかに進んでいる。特に航空機業界においては2022年度での大幅回復が見込まれている。また、半導体不足の影響で半導体部品および装置の需要は増加しており、派遣および請負に対するニーズは高まる見通し。
採用	3Qから本格的に採用を開始しており、若年層の採用に加え、エキスパート(シニア層)の採用にも注力。4Qからは採用者数の増加を見込む。

■ バリューアークコンサルティング株式会社（SES事業）

体制強化	人的リソースの共有化により、営業体制の増強に着手。新規開拓営業を順次展開する。
------	---

2022年3月期連結業績予想

(百万円)

	2021/3期		2022/3期		前期比	
	通期	構成比	通期 (8/11修正予想)	構成比	増減率	増減額
売上高	14,836	100.0%	16,943	100.0%	+14.2%	+2,106
売上原価	10,539	71.0%	11,788	69.6%	+11.9%	+1,248
売上総利益	4,297	29.0%	5,155	30.4%	+20.0%	+857
販売費及び一般管理費	2,859	19.3%	3,500	20.7%	+22.4%	+640
営業利益	1,437	9.7%	1,655	9.8%	+15.1%	+217
経常利益	1,439	9.7%	1,657	9.8%	+15.1%	+217
親会社株主に帰属する当期純利益	1,009	6.8%	1,077	6.4%	+6.7%	+67
1株当たり当期純利益 [※]	106.74円	—	112.76円	—	+5.6%	+6.02円
連結技術社員数(期末) [※]	2,020人	—	2,570人	—	+27.2%	+550人

※ 2021年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。2021/3期の1株当たり当期純利益は、当期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

※ 連結技術社員数はSES事業除く期末在籍人数を記載しています。

1. 第2四半期決算発表からの主なトピックス
2. 連結決算ハイライト
3. 売上高・KPI分析（建設・プラント技術者派遣）
4. 売上高・KPI分析（機械設計開発技術者派遣・請負）
5. 2022年3月期見通し・連結業績予想
- 6. 株主還元**

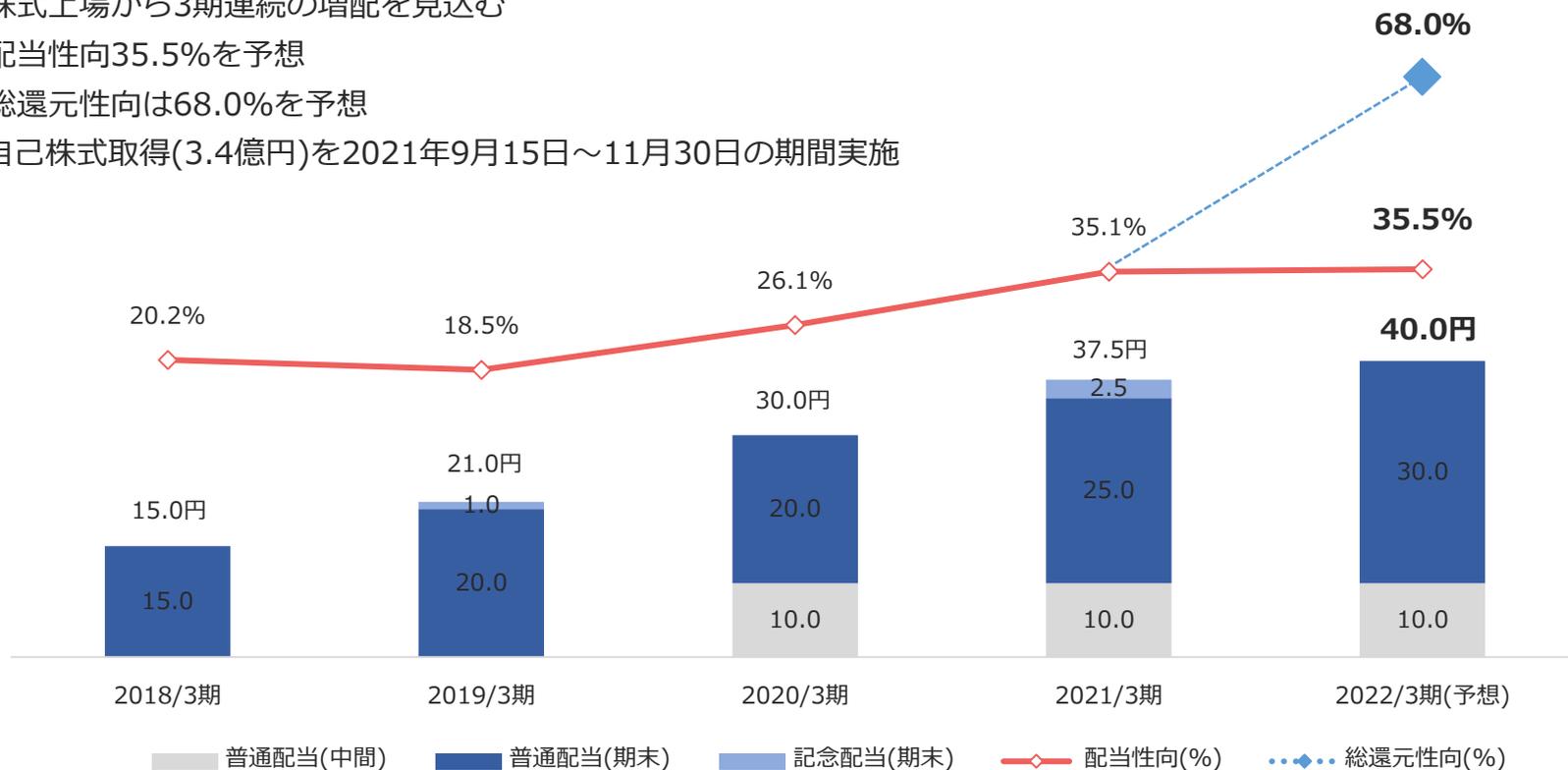
株主還元

【基本方針】

将来的な事業拡大に資する投資とのバランスに留意しつつ、連結配当性向30%以上を目途に、安定した配当を継続。

- ✓ 2022年3月期は年間40.0円、前期比+2.5円の増配
- ✓ 株式上場から3期連続の増配を見込む
- ✓ 配当性向35.5%を予想
- ✓ 総還元性向は68.0%を予想

自己株式取得(3.4億円)を2021年9月15日～11月30日の期間実施



※ 総還元性向 = (配当金総額 + 自己株式取得総額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益

※ 記念配当は、2019/3期が上場記念配当、2021/3期が東証・名証1部市場変更記念配当となります。

※ 1株当たり配当金は2021年4月1日付で実施した1対2の株式分割に伴う影響を加味して遡及修正をしています。

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資の参考に資するため、株式会社コプロ・ホールディングス（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【本資料に関するお問い合わせ・ご質問、お待ちしております】

株式会社コプロ・ホールディングス

IR戦略推進室

<フリーダイヤル> 0120-253-066

※WEBでのお問い合わせは下記当社HPの
質問フォームにてお願いいたします

<https://www.copro-h.co.jp/contact/>

スマートフォン
からも
お問い合わせ
いただけます



IRメール配信
サービスは
こちらから
ご登録下さい

